



7年振りに作付が開始された廻館工区ほ場（6月初旬撮影）

農業委員会からのお知らせ

1 太陽光発電設備の設置を目的とした転用について

最近、当委員会に太陽光発電についての問い合わせが、非常に多く寄せられています。太陽光発電設備の設置を目的とした、**農用区域内の農地への転用は、農用区域の除外が出来ません。農地転用申請は、農用区域の除外が大前提となることから農地転用は不可能**となります。ただし、農用区域以外の農地の場合は除外の必要がないことから、農地転用第4条及び第5条申請が可能となります。

*農用区域内の農地は地番指定されており、区域内か否か確認する場合は役場農林水産課農林業振興係若しくは農業委員会で確認できます。(☎46-1378)

2 非農地証明の申請について

非農地の判断基準ですが、地目が畑及び田であって、その土地が森林の様相を呈しているなど、農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難な場合、これ以外の場合であって、その土地の周囲の状況からみて、その土地を農地として復元しても継続して利用することが出来ないと見込まれる場合に証明申請が出来ます。

当町では、山林化されている農地が多く見受けられますが、地目を山林に変更したいなど希望される場合は、非農地証明の申請が必要になりますのでよろしくお願いします。

*非農地証明の申請書類は農業委員会にございますので問い合わせは農業委員会までお願いします。(☎46-1378)



いもち病・斑点米カメムシ類の防除を徹底しましょう!

1 いもち病



葉いもちの病斑

管内の一部ほ場ではいもち病（葉いもち）の発生が確認されています。いもち病の発生に好適な気象条件が続いた場合は、発生が広がる恐れがあります。ほ場をよく見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。



ズリコミ症状がみられるほ場

- ・いもち病の感染には平均気温が20～25℃、曇りや雨の日が多いことが好適条件となります。これからは、穂いもちの発生も心配されます。天気予報や病害虫防除所が発表する情報を確認し、注意しましょう。

葉いもちの発生が認められた場合は、すでに周辺の株に感染している可能性があります。予防剤施用の有無に関わらず、周辺のほ場も含め直ちに茎葉散布剤による防除を実施してください。

2 斑点米カメムシ類

7月5日に病害虫防除所から注意報第2号「斑点米カメムシ類」が発表されました。斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ）の発生量は多いと予想されています。

県内で発生がみられる斑点米カメムシ類



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



ムギカスミカメ



ホソハリカメムシ

- ・畦畔等の草刈りは、**出穂10日前**までに終わらせてください。なお、**出穂期は8月10日～16日頃**と予想されています（7月10日現在、古川農業試験場発表）。
- ・薬剤による防除は、「穂揃期（※1）」とその7～10日後」の2回散布を行ってください。
- ・水田内雑草が多いほ場では、1回目の防除時期を穂揃期から「出穂始（※2）」に早めて下さい。



【斑点米カメムシ類1回目の防除適期について】

- 左の写真のように穂の先端が止葉葉鞘から出た状態の茎が、ほ場全体の5～10%程度の時期を「出穂始」（※2）
40～50%程度の時期を「出穂期」
80～90%程度の時期を「穂揃期」（※1）といいます。
- 「出穂始」は「穂揃期」の約5～6日前です（※2）。
- 一般的には、穂が完全に伸びきった時期を「穂揃期」と呼んでいることが多いようですが、正しい時期を理解して適期 防除を心がけてください（※1）。

防除のご相談は、下記の関係機関にお問い合わせください。

- 宮城県本吉農業改良普及センター ☎0226-29-6044
- JA南三陸 営農販売課 ☎0226-47-4585 志津川営農センター ☎0226-46-3680
- 宮城県農業共済組合迫支所農産園芸課 ☎0220-22-8411

みんなで、読もう! 全国農業新聞 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月700円（送料込）
お申し込み・お問い合わせは、南三陸町農業委員会事務局まで 【☎ 0226-46-1378 内線412】

平成29年産宮城米の「食味レベルアップ」重点技術対策 ～ひとめぼれ「特A」奪還を目指して～



平成29年2月に発表された日本穀物検定協会による食味ランキングで、平成28年産宮城県ひとめぼれが「特A」から「A」に格下げの評価となったことを受け、以下の4項目を宮城米“食味レベルアップ”に向けた重点技術対策とし、農業関係機関・団体が一体となって取り組んでいます。売れる米づくりのため、生産者一人ひとりが食味向上に繋がる基本技術をもう一度確認し、平成29年産ひとめぼれの「特A」の奪還を目指しましょう。

食味ランキング区分
食味の総合評価結果に基づき、基準米よりも特に良好なものを「特A」、良好なものを「A」、おおむね同等のものを「A」、やや劣るものを「B」、劣るものを「B」にランク付けされます。

<食味向上のための基本の4技術>

1 生育量に応じた適正な肥培管理の実施
～適正な籾数レベルで穂揃期の葉色を維持～

3 出穂後の気温等に基づく適期刈取の励行

2 登熟向上に向けた水管理の実施

4 良食味米に仕上げる乾燥調製の徹底

上記のうち、今後の栽培管理に向けた技術対策②、③、④について解説します。

② 登熟向上に向けた水管理の実施

現状 出穂25日後以前から落水の傾向

対策 出穂30日後以降の落水

出穂後の落水については、出穂後25日以前から落水する傾向があります。ほ場の基盤整備等により排水性が良好な水田では、**落水時期を出穂30日後以降**とし、根の働きを維持することで玄米品質や食味の向上を図りましょう。

③ 出穂後の気温等に基づく適期刈取の励行

現状 県内刈取盛期の出穂後積算気温は、
晩限1,100℃（ひとめぼれ）を超過
（H28 1,420℃）→大幅な刈り遅れ

対策 ・適期内でもできるだけ早めに刈取り
・高温年は特に刈り遅れに注意

刈取りの遅れは食味低下の要因となるので、**刈取適期内にあってもできるだけ早めに刈り取り**ましょう。特に、高温年では刈取適期が早まるので、適期を逃さないよう注意しましょう。

（参考）ひとめぼれの積算気温による刈取適期の目安：早限940℃～晩限1,100℃

④ 良食味米に仕上げる乾燥調製の徹底

現状 ・収穫時期によって籾水分の変動が大きい
・一部で玄米水分が適正值より低い事例

対策 ・張込み時水分を確認し送風温度の遵守
・きめ細かい水分測定

乾燥は胴割粒の増加や光沢の低下による品質低下、食味の低下を招きやすいので、**仕上がり玄米水分は14.5%～15.0%を目標**とし、適正な送風温度の遵守、きめ細かい水分測定の実施により過乾燥を防止しましょう。また、**ライスグレーダーは1.9mm(LL)以上のふるい目**を使用し、性能にあった流量を守りましょう。

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部提供

農業者年金に加入しましょう! 農業者年金は保険料の額を自由に決められる年金です。
詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせ下さい。【☎ 0226-46-1378 内線412】

トピックス

3年後のワイン醸造を目指し! ～地域おこしプロジェクト始動～

3年後のワイン醸造を目指して、南三陸ワインプロジェクトが動き始めました。ワインブドウ植樹祭が4月23日、町内外から約60人が参加して行われました。この日植樹したのは、25aの圃場に、シャルドネと言う品種500本。参加者は皆楽しく交流を深めていました。

このプロジェクトの仕掛人は、藤田岳さん(29)。

藤田さんは、震災後、埼玉県から移住し、現在、地域おこし協力隊としてこのプロジェクトを代表する。担い手不足で遊休化している農地にブドウを栽培し、将来的にはワイナリーの建設を夢見ている。「なんとかして町の農業を活性化させたい。地域にブドウづくりを根付かせることで、遊休農地の解消に役立ち、多くの町の資源を活用した循環型農業の確立、さらにはワインと水産物を一緒に味わってもらおう事で、水産業など他産業も盛り上がる。グリーンツーリズムならぬワインツーリズムという観光が成り立つのではないかと」と藤田さんは笑顔で話してくれました。まだまだ課題も多いプロジェクトですが東京オリンピックが開催される2020年には、南三陸ワインに舌鼓を打ちながらテレビ観戦するのも夢ではないかもしれません。

(本記事は6月16日発行全国農業新聞に掲載されたものです)



植樹祭での記念撮影

農業者との意見交換会を 開催しました

被災農地の復旧・ほ場整備は、今年度全て完了する予定であるが、農地の機能を、いかに維持していくか課題も多いなかで、今後、農地利用について、どうあるべきか課題解消に向け、何が求められるのか、幅広い農業関係者等から意見の集約を図り、政策提案及び実行に繋げることを目的として、今年2月に「農業者との意見交換会」を開催しました。また、併せて今年度から取り組んでいる中間管理事業についての研修も行いました。



意見交換会の様子

編集後記

空梅雨でしょうか？暑い毎日が続き、水不足にならないか心配です。いまのところ稲も順調な生育となっておりますが今後、病害虫の防除対策など徹底した管理をお願いします。

こんな、暑さの中、さらにホットな話題です。町の海水浴場サンオーレそではまが待望のオープンをしました。町に賑わいがまた一つ戻ってきましたよ。是非、出掛けてみてはいかがでしょう。

農地の相談等についてはこれまで同様に各地区の農業委員へお気軽にご相談下さいますようお願い申し上げます。

編集委員(順不同)

- | | |
|-----|----------|
| 委員長 | 阿部博之(入) |
| 委員 | 今野一男(戸) |
| | 佐藤功一(歌) |
| | 元木幸雄(入) |
| | 及川道男(歌) |
| | 及川文枝(歌) |
| | 及川みよ子(志) |
| | 渡邊重一(志) |

